

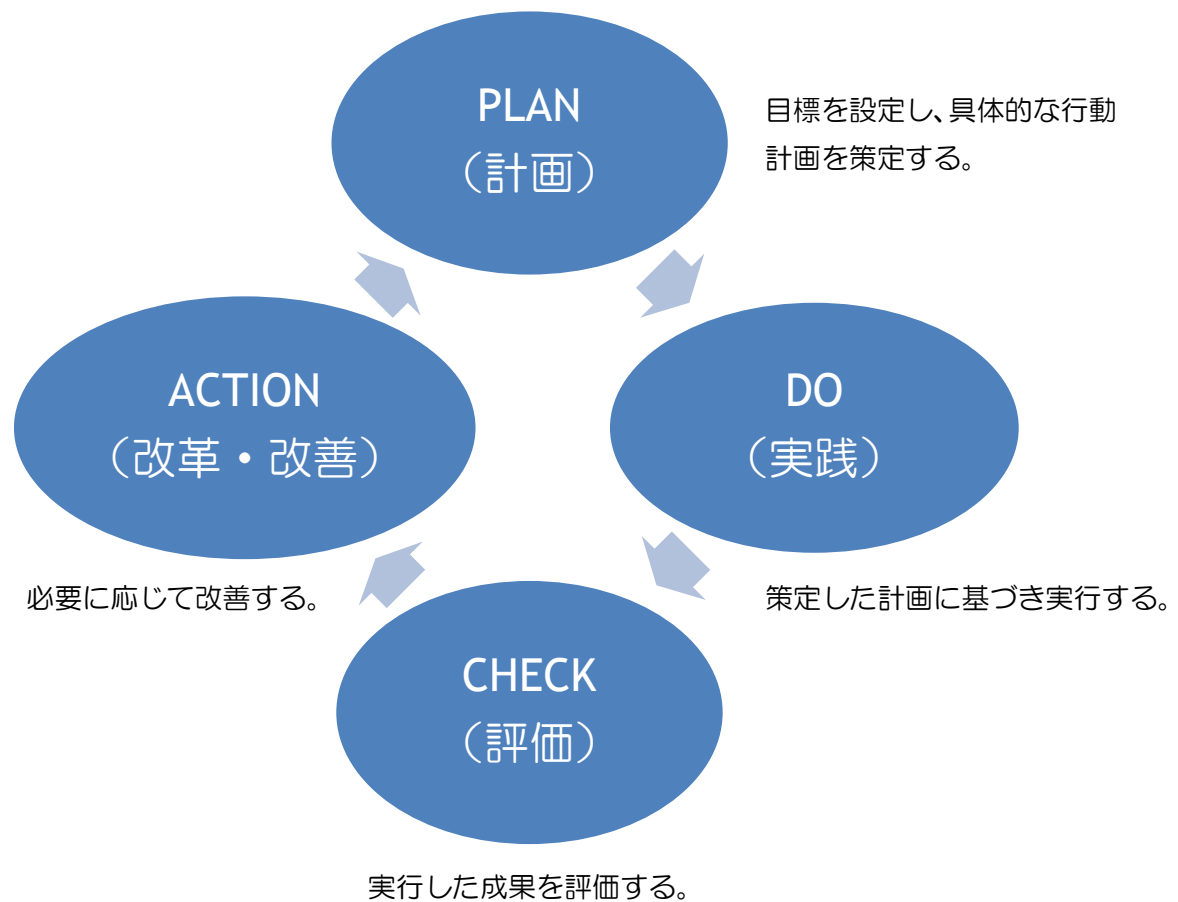
二宮町総合戦略評価システムの概要

1 導入の目的

- 二宮町総合戦略の進行管理サイクルの確立
- 効率的で戦略的な行政運営の実現
- 目的手段関係に基づく施策・事業の重点化・適正化、職員の政策形成能力向上
- 町民への説明責任の遂行と、行政運営への町民意見の反映

事業活動における管理業務を円滑に進める手法の一つであるPDCAマネジメントサイクルに基づき評価をする。この一連のサイクルが終わったら、反省点を踏まえて新たにPDCAサイクルを進める。

また、この評価結果に基づき、必要に応じて施策の見直しや戦略の改定を行う。

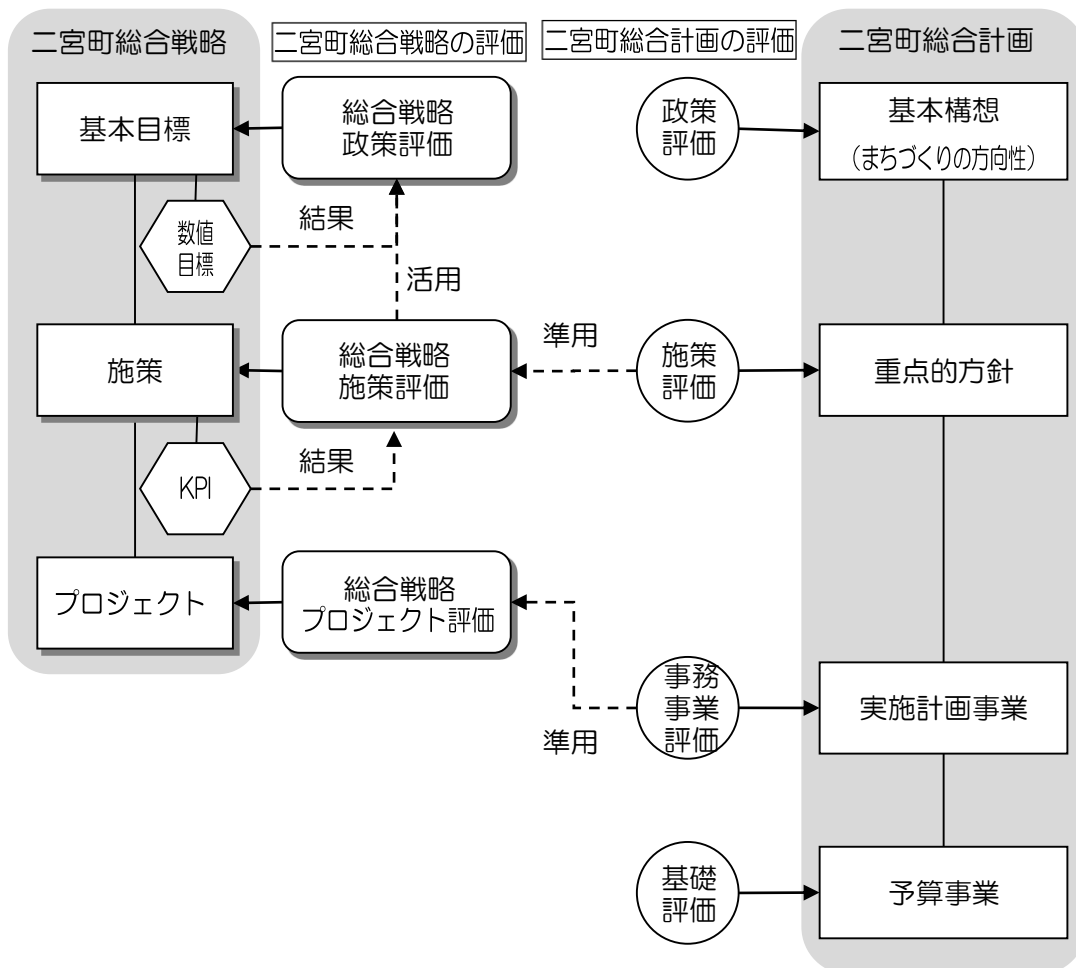


2 評価の対象

二宮町総合戦略の3つの階層ごとに総合戦略に設定した数値目標や重要業績評価指標（KPI）を用いて評価するとともに、第5次二宮町総合計画で実施する施策評価や事務事業評価について、該当する項目の結果を準用して評価を行う。

- 総合戦略政策評価：総合戦略の「基本目標」（4本）
- 総合戦略施策評価：総合戦略の「施策」（12本）
- 総合戦略プロジェクト評価：総合戦略の「プロジェクト」（19本）

[二宮町総合戦略と第5次二宮町総合計画の評価の関係図]



3 評価の観点

【国が示す政策の5原則】

二宮町総合戦略において人口減少克服・地方創生を実現するため、国が示す5つの政策原則に基づき評価する。

①自立性

・構造的な問題に対処し、地方公共団体、民間事業者、個人などの自立につながる。

②将来性

・地方が自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組むことを支援する。

③地域性

・各地域の実態に合った施策を支援。国は支援の受け手側の視点に立って支援。

④直接性

・最大限の成果をあげるため、直接的に支援する施策を集中的に実施する。

⑤結果重視

・PDCA メカニズムの下、具体的な数値目標を設定し、効果検証と改善を実施する。

※総合戦略プロジェクト評価については、行政評価の結果に加え、上記の観点を踏まえながら、「基本目標」及び「基本目標の意図する成果」に照らし、達成状況を評価する。

※総合戦略政策評価、総合戦略施策評価については、上記の観点と行政評価の結果や数値目標に対する実績値等を踏まえながら評価する。

4 評価

総合戦略の進行管理に当たっては、国から効果検証の客観性を担保するため、できる限り外部有識者を含む検証機関を設置することが推奨されている。そこで、二宮町総合戦略の進行管理においても、行政内部（二宮町総合戦略推進本部）だけでなく、外部委員会（二宮町総合戦略評価委員会）を設置し、町民や有識者の助言等を受け、評価を実施する。

5 評価結果の公表

町民に対する説明責任の遂行と、行政運営へ町民意見を反映するために評価結果を公表する。公表は、町の広報紙、ホームページ、報告書の閲覧等により行う。